

小林平大央の

がん治療の
進化を
目撃せよ！

第41回



精神疾患からガンまで
衝撃的な治療手段
として注目を集める
「MDα療法」とは？

最近、衝撃的な治療法と治癒・改善症例を記した書籍が発売されました。『新型コロナワクチン後遺症の早期改善が叶う―薬物を用いない治療方法』というタイトルで、著者は長野県中野市で統合医療系のクリニックを営む高橋嗣明医師です。『医師・元厚生労働大臣 坂口力氏らが絶賛！』という推薦や巻頭言があり、帯裏には「ほぼ毎日、困難な状況から早期に抜け出された患者様から『これに世に出していただいた方に感謝します』という言葉をいただきます」という一文があります。

原病^{げんびょう}に対してもたいへん効果があったとされています。さらに、高血圧や糖尿病、腎疾患^{じんしゅ}などの内科疾患、脱毛症、化学物質過敏症などに対しても顕著な効果があったのです。加えて、不眠や食欲低下、アトピー性皮膚炎、ガンなど、たいへん多くの疾患に対して効果があることが示されています。

ただし、これらの病気に対する治療は、多くの場合、MDα単独での治療ではなく、保険適用の標準治療やそのほかのさまざまな治療法を併用する統合医療として実施されています。実験ではなく、目の前の患者さんを救うことに全力を尽くしている臨床医師として、これは当然の結果といえるでしょう。

臨床医師の集まりである日本先進医療臨床研究会でも、目の

ワクチン後遺症だけじゃない！ 精神疾患からガンまで早期 改善が叶う「MDα療法」

実際、この本に詳細な報告があるのとおり、新型コロナ後遺症や新型コロナ・ワクチン後遺症だけではなく、たいへん多くの疾患に対して信じられないほど早期の改善が可能になっている事実があります。

この本で紹介されているメイソンの治療素材は『健康365』二〇二二年九月号「万病に効く体内蓄積の『マルチデトックス療法』」で紹介した液体サプリメント「MDα（マルチデトックスアルファ）」です。その成分は、細胞内液と同じ構造の特殊な水に七七種類以上の微量ミネラルがイオン化して溶けているミネラル溶液（LMミキッドマルチミネラル）と、二種類の水溶性ケイ素溶液（植物系と鉱物系）、フルボ酸と海藻由来

のナノコロイドヨウ素を追加したものです。これら多種類の成分が絶妙な配合でブレンドされているのが、MDαと総称されている製品群です。

MDαの治療効果ですが、新型コロナ後遺症や新型コロナ・ワクチン後遺症に対して驚くほど早期に治療効果が上がると報告されています。半年以上もこうした後遺症に悩まされ、この病院に行っても改善しなかった症状が、それこそ「あつという間」に、人によっては三日で、多くの場合は七日十日程度で治癒しているのです。

この本には、新型コロナ後遺症や新型コロナ・ワクチン後遺症以外にも、数多くの病態や疾患で早期に治癒・改善した症例が紹介されています。例えば、

Dαを少量飲んだだけで、三十分～一時間程度で人によっては〇・五～一℃近くも体温が瞬間的に上がります。ただし、体内動態（体内に入った薬物が吸収・分布・代謝・排泄^{はいせつ}という過程を経ること）の関係からか、四時間程度で本来の体温に近いところまで下がるようです。

また、一カ月ほど毎日MDαを飲用していると基礎体温が上がり、平熱そのものが若干上がるようです。この事実も高橋医師ら何人かの医師や医療者から報告されています。

では、なぜ体温が上がるのか――その詳細な理由はまだ解明されていません。しかし、おそらく体内での基礎代謝が促進することが原因ではないかと推測されています。

以前この連載で紹介した「デトックス効果」は体内に蓄積した化学合成物質や重金属などを体外に排除する働きですが、瞬間的に体温が上がることを考えるとデトックスの効果では時間的に間に合いません。そのため、デトックス効果より早く体内の酵素活性を上げるなんらか

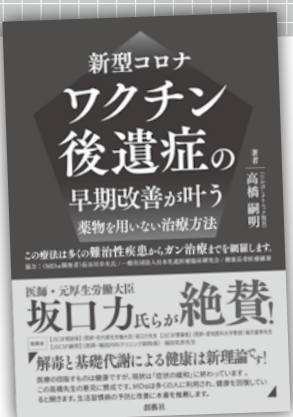
起立性調節障害や引きこもり、不安神経症、強迫神経症、パニック障害などの精神疾患に対しては、多くの症例でとても顕著な効果があつたと報告されています。

また、症例数は多くはないものの、キャッスルマン病やシェーグレン症候群、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症などの膠^{りゅう}

の働き、例えば代謝を促進する酵素の活性を上げる働きなどが関与しているのではないかと推測されています。低体温に悩む女性は多く、ガンをはじめとするさまざまな病気の要因となることが分かっていますので、こうした病気の予防にもなると期待されています。

MDαの働きの中でも顕著なのが、腸の機能を改善する働きです。MDαを飲用した多くの人の便秘が解消し、便臭や体臭も改善します。これは、おそらくMDαの飲用によって腸内細菌の状態がよくなったことで、腸の機能が改善されたのではないかと考えられています。

さらに、「睡眠の質が改善した」「食欲が増進した」「疲労感・倦怠感^{けんたいかん}が消えた」など、さまざまな症状や状態が改善したという報告が数多くあります。現在、日本先進医療臨床研究会では、MDαと、治療効果が高いと報告のあるほかの治療法を組み合わせた複合寛解療法を推進し、全国の会員医師向けの症例研究会や患者向けの説明会などを開催しています。



『新型コロナ ワクチン後遺症の早期改善が叶う―薬物を用いない治療方法』高橋嗣明著、日本先進医療臨床研究会協力（創藝社）

ところで、この本の中には詳しくは記載されていませんが、MDα療法は体温を上げる効果が非常に高いことが分かっています。M